

(3) 今後も鳥羽市に住んでいたいと思う人の割合

各種施策等の展開により、今後も鳥羽市に住んでいたいと思う人の割合の上昇を目指します。

第六次鳥羽市総合計画に関するアンケート調査結果報告書(令和7年(2025年)8月)によると、「あなたは今後も鳥羽市に住んでいたいと思いますか。」の設問に対して、「ずっと住んでいたい」と回答した割合が50.7%となっており、令和3年(2021年)調査での54.4%から大幅に減少しています。「市外に移りたい」「近いうちに転出する」理由として、過半の方が回答したのは「交通の便が悪い」「買い物に不便である」であり、いずれも本計画の取り組みと密接に関係する項目となっています。

今後は本計画の各種施策等の総合的な展開による上昇を目指し、令和16年(2034年)における目標値を55.0%とします。

目標指標	基準値	目標値
	令和7年(2025年)	令和16年(2034年)
今後も鳥羽市に住んでいたいと思う人の割合	50.7%	55.0%
【出典・算出方法】 今後も鳥羽市に住んでいたいと思う人の割合：鳥羽市総合計画に関するアンケート調査結果報告書による、「あなたは今後も鳥羽市に住んでいたいと思いますか。」の設問に対して、「ずっと住んでいたい」と回答した割合。		

第8章 計画の評価・見直し

1. 計画の評価・見直し

立地適正化計画は、長期的に都市の体質改善を図る計画であるため、施策の実施状況や目標値の到達度を確認しながら、必要に応じて見直しを行うことで、計画の実行性を高めていくことが重要です。

そのため、本市においては、PDCA サイクルの考え方に基づき、進捗管理を実施していきます。具体的には、計画(Plan)に基づく取り組みの確実な実行(Do)に加え、立地適正化計画や防災指針に位置つけた取組状況の確認や関連する都市計画制度の運用状況のモニタリング評価(Check)を通して、取り組みの着実な実施を図っていきます。

また、おおむね5年ごとに実施する法定評価では、都市計画審議会において取り組みの達成状況等を検証・評価した上で、施策や目標値等の見直し・計画の改善(Act)を図ります。必要に応じて、立地適正化計画の見直し(Plan)を図っていくことで、計画の実行性を高めていきます。

